



学校だより

はと広場

北小 Revival～ありがとう 75 年 100 年に向かってスタート

3 月 号

令和 4 年 3 月 1 日

さいたま市立北浦和小学校

TEL 048-831-2463

立志～あこがれを抱く～

校長 三村 悟

「きさらぎ」という名前どおり寒い日の続いた2月も終わり、今日から3月。いよいよ1年間を締めくくる月となりました。今年の卒業式も、日頃から児童を見守ってくださる地域の皆様に御来賓としてお越しいただくことはかなわず、卒業生、保護者、教職員で行うこととなりました。感染症防止の観点からなにとぞ御理解ください。

さて、過日、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院長の上田紀行教授とお話しさせていただく機会に恵まれました。文化人類学者としての業績や「生きる意味」(岩波新書)で有名な方ですが、10年前から東工大で、ジャーナリストの池上彰氏らとともにリベラルアーツの教育に取り組まれているそうです。最近「文理融合」という言葉もよく耳にしますが、専門性の垣根を超えて社会の課題を解決することが求められており、その流れの中でリベラルアーツの重要性が語られるようになっていきます。

上田教授がお話くださったことの一つに、志をもつことの大切さがあります。東工大では「立志プロジェクト」という取組を行っているそうです。このプロジェクトでは、学生が入学直後から著名人の講演を聞いたり、少人数で徹底的に語り合ったりしながら、正解は一つではないこと、学びは仲間たちと相乗的に高め合うものだという意識転換を図るのだと言います。自分の専門に閉じこもるのではなく、「尊敬される」リーダーになるという志が学びの原動力となるのだとお話してくださいました。



北門付近に咲くスイセン

さすがに日本屈指の理系の大学は目指すところが高い！と感動しました。

さいたま市では、この4月からすべての市立小中学校で「STEAMS TIME」という取組が始まります。これは、「実社会で新しい価値を生み出す力」の育成を目指し、①プログラミング的思考を育む時間 ②創造性を育むPBL(プロジェクト型学習)の2つを行う時間です。小学校3年生以上で年間9時間が予定されており、本校でもその準備を進めています。

STEAMSの「S」はサイエンス、「T」はテクノロジー、「E」はエンジニアリング、「M」はマス(数学)を意味し、科学技術分野の進展する社会に対応する力を育成します。そこに「A」のアート、「S」のスポーツを加え、社会の中で自己実現できる力の育成を目指します。

小学校においては、専門性を高めるうえでの基盤となる学びに向かう力、「STEAMS って面白い！」と思う気持ちを養うことが大切だと考えています。その第一歩は、「あんなふうになりたい」「あんなことをやってみたい」というあこがれを抱くことです。

小学生の頃に抱いたあこがれは、やがて大きな志となっていくことでしょう。青年期に大きな志を立てるための種は、子どもの頃のあこがれなのです。子どもの無邪気な心を受け止め、一人一人の「ワクワク」感を高める教育を大切にしていきます。